

献身と博愛 原点確認

日本を代表する社会運動家の草分け、賀川豊彦（1888～1960年）に多大な影響を与えた米国人宣教師、チャールズ・ローガン（1874～1955年）の孫夫妻がこのほど、神戸を訪れ、賀川の孫・督明さん（56）＝神戸市東灘区渦森台＝と対面した。

（河尻 悟）

賀川豊彦の恩師・ローガン氏

孫夫妻が神戸訪問

神戸 賀川は同市兵庫区で生まれ、幼少期の1893（明治26）年、父母が相次いで亡くなったため、徳島県の本家に引き取られた。

旧制徳島中学校の学生だった1902年ごろ、徳島市内の教会に通い始め、出会ったのが2人の宣教師、ローガンと、ローガンの妻の弟ハリー・W・マヤスだった。賀川は2人から英会話を学ぶとともに、キリスト教の教えに傾倒。04年に洗礼を受け、伝道者として貧困問題に立ち向かうようになる。

神戸を訪れたのは、ローガンの孫、オーラ・D・マリーさん（72）と、夫のジョンさん（73）＝米サウスカロライナ州在住。賀川が神戸で救貧活動を始めて今年で100

建設中の記念館見学 孫・督明さんと対面

年を記念する「賀川豊彦献身100年記念事業徳島プロジェクト」の招きで来日。督明さんの案内で、完成間近の賀川記念館（神戸市中央区吾妻通）話をしていた。

5）などを訪ね、「とても美しい建物で感動した」と話した。

夫妻はローガンについて、「（オーラさんの）母から『祖父は賀川さんにすべての人を愛するよう伝え、彼は実践した』と聞いた。日本を愛し、太平洋戦争開戦を悲しんでいたとも聞いている」などと語った。

督明さんは「救貧活動

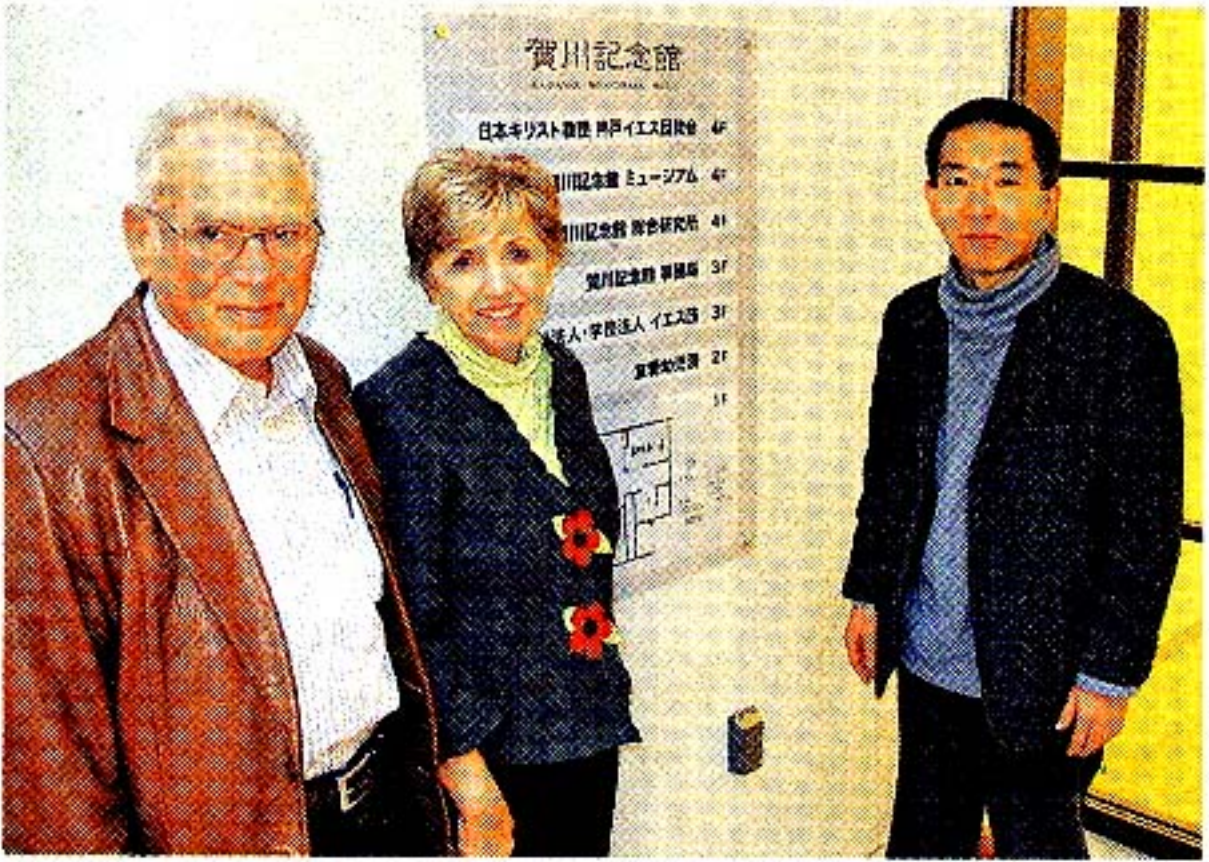
や、その後の社会運動に

つながる大切なことをロ

ーガンさんから教わった

とあらためて感じた」と

話していた。



賀川督明さん（右端）の案内で、完成間近の賀川記念館を訪れたオーラ・D・マリーさんと夫のジョンさん＝神戸市中央区